

解説 7 6 5 4 3
③ ① ⑤ ③ ②

解答

2 1
④ ①

出典

河野哲也『境界の現象学―始原の海から流体の存在論へ』／第二章 見つめられることの現象学／(筑摩選書)

現代文領域(近代以降の文章)

国語

解説 1 a、空欄後の(近代の哲学は)「自分が見られることのない純粹な主観として想定する……主観主義の根本仮説となってきた」に着目する。したがって、「主観主義」(①・③)が適当。b、空欄前の「自分が『森に見られる』ことによって……森の中に存在する」に着目する。「見られる」ことによって存在を位置づけられると言っている。したがって、「可視」(①・⑤)が適当。c、「見る」行為を「……的な運動感覚」と言っている。前文で「見る」

大学入試

2024

教学社 刊行一覧

2024年版 大学入試シリーズ(赤本)

国公立大学(都道府県順)

378大学555点
全都道府県を網羅

全国の書店で取り扱っています。店頭がない場合は、お取り寄せができます。

1 北海道大学(文系-前期日程)	62 新潟大学(人文・教育(文系)・法・経済科・医(看護)・創生学部)	115 神戸大学(理系-前期日程)
2 北海道大学(理系-前期日程)	63 新潟大学(教育(理系)・理・医(看護を除く)・歯・工・農学部)	116 神戸大学(後期日程)
3 北海道大学(後期日程)	64 新潟県立大学	117 神戸市外国語大学
4 旭川医科大学(医学部(医学科))	65 富山大学(文系)	118 兵庫県立大学(国際商経・社会情報科・看護学部)
5 小樽商科大学	66 富山大学(理系)	119 兵庫県立大学(工・理・環境人間学部)
6 帯広畜産大学	67 富山県立大学	120 奈良教育大学/奈良県立大学
7 北海道教育大学	68 金沢大学(文系)	121 奈良女子大学
8 室蘭工業大学/北見工業大学	69 金沢大学(理系)	122 奈良県立医科大学(医学部(医学科))
9 釧路公立大学	70 福井大学(教育・医(看護)・工・国際地域学部)	123 和歌山大学
10 公立千歳科学技術大学	71 福井大学(医学部(医学科))	124 和歌山県立医科大学(医・薬学部)
11 公立ほくたて未来大学	72 福井県立大学	125 鳥取大学
12 札幌医科大学(医学部)	73 山梨大学(教育・医(看護)・工・生命環境学部)	126 公立鳥取環境大学
13 弘前大学	74 山梨大学(医学部(医学科))	127 鳥根大学
14 岩手大学	75 都留文科大学	128 岡山大学(文系)
15 岩手県立大学/盛岡短期大学部・宮古短期大学部	76 信州大学(文系-前期日程)	129 岡山大学(理系)
16 東北大学(文系-前期日程)	77 信州大学(理系-前期日程)	130 岡山県立大学
17 東北大学(理系-前期日程)	78 信州大学(後期日程)	131 広島大学(文系-前期日程)
18 東北大学(後期日程)	79 公立諏訪東京理科大学	132 広島大学(理系-前期日程)
19 宮城教育大学	80 岐阜大学(前期日程)	133 広島大学(後期日程)
20 宮城大学	81 岐阜大学(後期日程)	134 尾道市立大学
21 秋田大学	82 岐阜県立大学	135 県立広島大学
22 秋田県立大学	83 静岡大学(前期日程)	136 広島市立大学
23 国際教養大学	84 静岡大学(後期日程)	137 福山市立大学
24 山形大学	85 浜松医科大学(医学部(医学科))	138 山口大学(人文・教育(文系)・経済・医(看護)・国際総合科学部)
25 福島大学	86 静岡県立大学	139 山口大学(教育(理系)・理・医(看護を除く)・工・農・共同獣医学部)
26 会津大学	87 静岡文化芸術大学	140 山陽小野田市立山口東京理科大学
27 福島県立医科大学(医・保健科学部)	88 名古屋大学(文系)	141 下関市立大学/山口県立大学
28 茨城大学(文系)	89 名古屋大学(理系)	142 徳島大学
29 茨城大学(理系)	90 愛知教育大学	143 香川大学
30 筑波大学(推薦入試)	91 名古屋工業大学	144 愛媛大学
31 筑波大学(前期日程)	92 愛知県立大学	145 高知大学
32 筑波大学(後期日程)	93 名古屋市立大学(経済・人文社会・芸術工・看護・総合生命理・データサイエンス学部)	146 高知工科大学
33 宇都宮大学	94 名古屋市立大学(医学部)	147 九州大学(文系-前期日程)
34 群馬大学	95 名古屋市立大学(薬学部)	148 九州大学(理系-前期日程)
35 群馬県立女子大学	96 三重大学(人文・教育・医(看護)学部)	149 九州大学(後期日程)
36 高崎経済大学	97 三重大学(医(歯)・工・生物資源学部)	150 九州工業大学
37 前橋工科大学	98 滋賀大学	151 福岡教育大学
38 埼玉大学(文系)	99 滋賀医科大学(医学部(医学科))	152 北九州市立大学
39 埼玉大学(理系)	100 滋賀県立大学	153 九州国科大学
40 千葉大学(文系-前期日程)	101 京都大学(文系)	154 福岡県立大学/福岡女子大学
41 千葉大学(理系-前期日程)	102 京都大学(理系)	155 佐賀大学
42 千葉大学(後期日程)	103 京都教育大学	156 長崎大学(多文化社会・教育(文系)・経済・医(保健)・環境科(文系)学部)
43 東京大学(文科)	104 京都工芸繊維大学	157 長崎大学(教育(理系)・医(歯)・薬・情報データ科・工・環境科(理系)・生産学部)
44 東京大学(理科)	105 京都府立大学	158 長崎県立大学
45 お茶の水女子大学	106 京都府立医科大学(医学部(医学科))	159 熊本大学(文・教育・法・医(看護)学部)
46 電気通信大学	107 大阪大学(文系)	160 熊本大学(理・医(看護を除く)・薬・工学部)
47 東京医科歯科大学	108 大阪大学(理系)	161 熊本県立大学
48 東京外国語大学	109 大阪教育大学	162 大分大学(教育・経済・医(看護)・理工・福祉健康科学部)
49 東京海洋大学	110 大阪公立大学(現代システム科学域(文系)・法・経済・商・看護・生活科(居住環境・人間福祉)学部-前期日程)	163 大分大学(医学部(医学科))
50 東京学芸大学	111 大阪公立大学(現代システム科学域(理系)・理・工・農・獣医・医・生活科(食栄養)学部-前期日程)	164 宮崎大学(教育・医(看護)・工・農・地域資源創成学部)
51 東京藝術大学	112 大阪公立大学(中期日程)	165 宮崎県立大学(医学部(医学科))
52 東京工業大学	113 大阪公立大学(後期日程)	166 鹿児島大学(文系)
53 東京農工大学	114 神戸大学(文系-前期日程)	167 鹿児島大学(理系)
54 一橋大学(前期日程)		168 琉球大学
55 一橋大学(後期日程)		
56 東京都立大学(文系)		
57 東京都立大学(理系)		
58 横浜国立大学(文系)		
59 横浜国立大学(理系)		
60 横浜国立大学(国際教養・国際商・理・データサイエンス・医(看護)学部)		
61 横浜国立大学(医学部(医学科))		

ことを(他者に)「共感し……関係性を理解すること」と述べている。「共感」「理解」は心のはたらきである。したがって、「内」(①・④)が適当。d、直前に「見る・見られる」の」とあるが、これはここまでの論旨からすれば、いつでも入れかわるものだ読める。したがって、「循環」(①・⑤)が適当。よって、すべて正しい①が適当。

② 傍線部前の段落末尾に「この絵は、絵の外にいる者を、描かれた人物たちの視線と鏡によっておのれの内部に取り込むのである」とある。よって、これとほぼ同じ言いかたで説明している④が適当。

③ 傍線部の「身体を重ね合わせる」とは、傍線部前にあるように「共感する」ことである。そして、「共感」はこの文章の論旨から「見る・見られる」の双方向性が成立すること。樹木を見るのはよいとして、樹木から見られる(樹木が見る)ことについては、二つ後の段落に(樹木について)「成長と……葉が舞い落ちる様を……自分の運動感覚によって捉えたとき」とある。よって、この内容から説明している②が適当。

④ X、前段落に「絵画を描くために必要なのは……描く対象から自分が見つめられることだ。そのためには、まず見られる身体をもっていなければならない」とある。空欄前は「描こうとする対象に見られなければならない……対象が息づいている世界に入れない」だが、これは、前段落の「絵画を描くために必要なのは……描く対象から自分が見つめられること」と同じ。空欄後は「私が見られるためには、私は……身体でなければならぬ」だが、これは前段落の「見られる身体をもっていなければならない」と同じ。前段落の説明で前後をつなぐ言葉は「そのためには、まず」なので、空欄には「よって」(③)か「まず」(④)が適当。Y、空欄前は、潜在的な可視性と現に見られている被視性の置き換わりを断定的に指摘している。空欄後では、可視性と被視性の相違に疑義を提示している。断定的あとに疑義の提示を述べているので、ここは、あらたな条件を提示する「ただし」(①)か、逆接の「しかし」(③)が適当。Z、自然の美的体験について、空欄前の「自分を自然の一部として感じる」を、空欄後で「交感(あるいは、万物照応……)」の経験」と言いかえている。したがって「すなわち」(③・④)が適当。よって、③が適当。

⑤ 直後の文に「どのようにして、私から反射した光が……知ることができのだろうか。それは……」とあるので、こ

の後の内容に着目する。「樹木が私を見ている」ということについては、「森の中での私の可視性と森の樹木の可視性を経験すること」とあり、「樹木がこちらに関心を持つならば、私は樹木にも見えるはず」とある。この内容を説明している⑤が適当。

⑥ 傍線部前の段落に「この妄想は、自分の可視性、すなわち、自分は潜在的に誰にでも見られうる対象であるという事実を、いつでも顕在的に誰かに見られている事態と取り違えることから生じる」とある。よって、この内容と同じ説明である①が適当。

⑦ 第五段落に「デカルト的自己は……絵画世界の外にいて、外部から絵画世界をひたすら眺めるだけの鑑賞者……デカルトとその後継者が決まっていると思いつかなかった真実を、ヴェラスケスは描いた」とある。ヴェラスケスの絵画による「思いつかなかった真実」とは、同段落に述べられているように「他者からの視線によってその空間へ参入できる」ことである。つまり、「デカルト的自己」は絵画空間へは参入できないことになる。よって、この内容を説明している③が適当。

【出典】 黒島伝治「電報」(『樞／豚群』講談社文芸文庫)

解答

⑧ ③

⑨ ④

⑩ ③

⑪ ②

⑫ ④

⑬ ①

解答

$$\begin{array}{c} 16 \\ | \\ 3 \end{array}$$

Diagram showing the mapping of numbers 17 to 24 to a sequence of numbers 5, 2, 1, 5, 1, 2, 3, 4. Each number in the top row is in a colored box (blue, green, red, yellow) and connected by a line to a number in the bottom row.

14
|
⑤

解説

8

⑧「不利な立場」については、前段落に「彼よりよほど出来が悪かった者が、少しよい勉強をして、読み書きが達者になったために」、ある程度の地位を得て「村でえらばっている。そして、彼はそういう人々に対して、頭を下げねばならなかった」とある。つまり、源作は息子に進学させ、人から下に見られる立場にはさせたくないと思つたのである。よつて、「息子が人から見下されることのない」とする③が適切。

⑨ 傍線部より後に「神仏に願つても、効くものでない」と常々から思っている源作」とある。傍線部の箇所はその「常々」にあたるところだろう。したがって、傍線部の箇所、源作はおきものの「観音様にお願を掛け……」という言葉聞いても、効果はないと思つたと言える。よつて、④が適切。

傍線部前に「庄屋の旦那が、貧乏人が子供を市の学校へやるんをどえらい嫌うとるんじゃせにやっても内所にしとかにやらんぜ」とある。息子を市の中学校へ行かせて庄屋の旦那に知られると、庄屋から嫌われて何か不都合なことがあると、おきの叔父は考えている。ただ、その不都合の具体的な事態にまでは言及がなく、ただ知られないようにするのが無難だと考えていることが読み取れる。よって、「安全だと考えている」とする③が適切。

直後の「太い、力のある」と並列的に形容されるものがふさわしい。よって、②「しわがれた」が適切。「しわがれた」声は、低音でかすれたような声である。

⑫ 「自分の金で……されることはない」と考えていたが、小川の言葉に「何か云おうとした」ものの何も返せず、息子の進学をためらい始めた。よって、④が適切。

小川をはじめとして、村の有力者に嫌がらせを受け、源作はうんざりして「感覚を失ったような気がした」。そのため、おきの「分に過ぎる……じゃけれど」という言葉に同調し、息子呼び戻した。よって、①が適切。

⑩で確認した庄屋の考えや、村役場で源作が遭遇した村会議員の小川の言葉などで、農民の子が進学して学問をするのを良く思っていない様子がわかる。よって、⑤が適切。